

校長室だより第 47 号（令和 8 年 2 月 26 日）

5 年移動教室③

調理組の話が先行しましたが、並行して火起こし組も頑張っていました。細い木を上手に組み、新聞紙と牛乳パックを着火剤代わりにして、上手に火を起こしていました。40 年近く教師をしているので何度も火起こしを見守ってきましたが、一番上手だったと思います。

しかし、想定以上に早く火が付いてしまったために、野菜が間にあわず、火を弱くしなければならぬほどでした。

肉と野菜を軽く炒め、適量の水を入れ、鍋を見守る調理班。勢いよく火が燃えるように、適宜薪をくべる火起こし班。その間に、フルーツを切ったり、食器の用意をしたり、洗い物をしたりと皆で協力してカレー作りは進みました。完成したカレーはどの班もおいしかったです。

実は、食べ終わった後が大変です。かまどをきれいにする。鍋をきれいにする。流しをきれいにする。食器を洗う。テーブルを拭く。それもよく頑張りました。

後日、子どもたちが書いた感想に次のようなものがありました。

家では、「おなかすいた。」「ご飯まだ。」と軽く母に言ってしまう。でもご飯を作るって大変なんだと、カレー作りをして思った。お母さん、いつもありがとう。

午後は、学級ごとに、ポッチャかドミノで遊びました。どちらも楽しそうでした。

夕食のあと、キャンドルサービスの時間となりました。体育館に集合し、大きな円になってみんなが座ります。電気が消され、キャンドルサービスが始まりました。厳かな雰囲気の中を火の神と火の子 4 人が入場。『思いやり』『友情』『協力』『感謝』の火を中央にある燭台に灯しました。

第 2 部はダンスやレクを行い、大いに盛り上がりました。そして第 3 部は、第 1 部と同じように厳かな雰囲気の中、火の神を見送りました。

メリハリのついたよい演出であり、子ども達は雰囲気を楽しみながら、1～3部を楽しむことができていました。さすが、おぐらっ子！とても素敵なキャンドルサービスでした。

3日目は朝から荷物をまとめなければなりません。また、部屋を来室前に戻さなければなりません。なかなか大変だったようです。

その後、クライミングウォール、モルック、モルック作りに分かれて活動しました。

昼食を取り、退所式を経て、無事に帰校しました。

あと1ヶ月で6年生になる彼らにとって、大変よい経験になったことでしょう。

もっと、もっと、成長できると私は感じています。今後の5年生に期待しています。

保護者の皆様、書類の提出、健康観察、荷物の準備など、ご協力ありがとうございました。